

わたしの夢 | <第74回> | 千厩小

設計士になるのが夢
体が不自由な人でも
笑って過ごせる建物を作りたい



DREAMS COME TRUE

夢は見るものじゃなく、かなえるもの

会田愛大さん

あいだ・まなと
千厩小6年

千厩小は、本年度で閉校を迎えます。千厩小の伝統である元気なあいさつを大切にしようと、全校児童で「あいさつ運動」に取り組んでいます。好きな科目は算数。生活の中でいろいろなことに役立ち、問題を解くのも楽しいからです。最近夢中になっていることは料理です。フレンチトーストやチーズケーキなどを作りました。次はどんな味にしようかと考えるのが楽しいです。将来の夢は設計士です。体が不自由な人でも、楽しく笑って過ごせるような建物を作りたいからです。夢をかなえるために、たくさん勉強をしているいろいろなことを学んでいきたいです。

編集後記

▼県内市町村が地域の魅力をPRする「ふるさとCM大賞」WATE 2017」。本市からは高校生らが参加し一関市の魅力を15秒で表現します。放送日等は本紙8頁に。(佐藤和幸)

▼「暗い思い込みを捨て、明るい思い付きを拾う」は、特集の取材中に聞いた言葉。本宿地域の人たちは、ささやかな喜びも、ふるえるほど大きな感動も分かち合って暮らしていました。(高橋英義)

▼「いな人」の取材。水谷美月さんが持っているバイオリンは、通常の4弦ではなく5弦のもの。低音が加わることで、ポップスなどの広い音域の曲が表現できるようになるそうです。(吉住優)

▼昨年に引き続き「もちサミット」を取材。おいしそうにもちをほおばる皆さんにつられ、気付けば私もおなかいっぱいお餅を食べました。

(荻庄瑤子)

